



日本語能力考试

N2 读解

●分类强化 立见成效 ●解题技巧 迅捷提高

刘文照 海老原博◎编著



华东理工大学出版社
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

新日本语能力考试

N2 读解

●分类强化 立见成效 ●解题技巧 迅捷提高

刘文照 海老原博◎编著

图书在版编目(CIP)数据

新日本语能力考试 N2 读解/刘文照,海老原博编著. —上海:华东理工大学出版社,2011.6
ISBN 978-7-5628-3058-0

I.新... II.①刘...②海老原... III.日语-阅读教学-水平考试-自学参考资料
IV.H369.4-44

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 106006 号

新日本语能力考试 N2 读解

编 著 / 刘文照 海老原博

策划编辑 / 陈 勤

责任编辑 / 陈怡萍

责任校对 / 陈孟昀

封面设计 / 戚亮轩

出版发行 / 华东理工大学出版社

地 址:上海市梅陇路 130 号,200237

电 话:(021)64250306(营销部)

(021)64252717(编辑室)

传 真:(021)64252707

网 址:press.ecust.edu.cn

印 刷 / 江苏句容市排印厂

开 本 / 710mm×1000mm 1/16

印 张 / 11

字 数 / 213 千字

版 次 / 2011 年 6 月第 1 版

印 次 / 2011 年 6 月第 1 次

书 号 / ISBN 978-7-5628-3058-0/H·1109

定 价 / 25.00 元

(本书如有印装质量问题,请到出版社营销部调换。)

如您对本书有任何建议,请联系:941487073@qq.com

前 言

众所周知,新日本语能力考试改革不仅增加了读解的题型,更重要的是加大了读解文章的难度,给应试者带来了新的挑战。由于新考试推行不久,所以可供应试者参考的有关读解方面的练习用书目前还比较匮乏。为此,编者尝试着编写了这套读解练习系列(N5~N1)。

本书为 N2 读解练习册,是根据新考试的特点、题型编写的,共分为五个单元。本书中的文章体裁主要有论述文、评论文、社论、说明文(科普、实验说明等)、指示文(信函、电子邮件等)、随笔等。

文章和资料的来源既有日本的报纸、杂志等传统出版物,也有网络、电视等平面媒体。文章的后面未注明出处的,有的是编者海老原博先生撰写的,有的是编者约稿的。

本书中的商务文书、书信、各类手册或指南等应用文中所涉及的地名、公司名、人名、数据等大部分属于虚拟。

各种类型的文章数量分布:

- 一、内容理解(短篇):60 篇
- 二、内容理解(中篇):30 篇
- 三、综合理解:10 篇
- 四、论点理解(长篇):10 篇
- 五、信息检索:10 篇

在编写过程中,编者本着“最大限度地接近真题”的思路精心编写,但愿本书能对新日本语能力考试的应试者有所帮助。参与本书编写的还有海老原恭子、马靖、蔡依英、江思辉、孔江晶、周峰、郑名群、张士凤、钱敏、陈佐城、刘惠芬、李爱珍、蒋新龙、黄洁秀、过燕飞、范丽平、陈平安、陈芳等。由于编者水平有限,本书的不足之处,敬请读者批评指正。

编者

2011 年 6 月

● 关于 N2 读解

根据“新しい「日本語能力試験」ガイドブック”，即“新日本语能力考试指南”的介绍，新考试读解试题的设计主要从以下两个方面考虑：「どのようなテキストから」（选择何种体裁的文章）和「どのように情報を得るか」（如何阅读文章并判断正确的选项），即读解的构成和阅读方式。

一、“读解”的构成

	题 型	题目数量	文章种类及测试范围
1	内容理解 (短篇文章)	5	文章的素材主要为与现实生活、工作、学习等息息相关的文章。文章的体裁主要为说明文(科普、实验说明等)、指示文(信函、电子邮件等)。字数为 200 字左右。试题考查的面比较广泛,有事情的原因或理由、句子的含义、文章的归纳、指示词的指代内容、作者的观点、文章的主旨等。
2	内容理解 (中篇文章)	9	文章的素材主要为评论文、解说文、随笔等,字数为 500 字左右。重点考查考生能否正确理解文章中某一事情的起因或理由、句子的含义等。
3	综合理解	2	文章的素材主要为观点表述文、感想文等,字数为 600 字左右。考查考生能否理解就同一话题发表不同见解的 2 篇文章中存在的观点差异或相同之处。
4	论点理解 (长篇文章)	3	文章的素材主要为社论、评论等抽象性和逻辑性比较强的文章,字数为 900 字左右。试题考查考生能否从整体上把握文章或作者的主张、意见等。
5	信息检索	2	文章的素材主要为广告、指南、通知、商务文书、产品说明书等应用文,字数为 700 字左右。试题要求考生根据先行提问找出与此相应的必要信息。

二、“读解”的阅读方式

根据“考试指南”的介绍,在考查“如何获得信息”时,出题方主要从以下四种阅读方式为基础设计考试题目。其中,在“短篇文章”中主要考查其中一种阅读方式,而在“中篇文章”和“长篇文章”主要考查一种或数种阅读方式。

	考察文章的整体	考察文章的部分
速读	A. 速读全文	B. 速读部分文章
精读	C. 精读全文	D. 精读部分文章

● N2 读解要点归纳

根据上面的介绍,可以归纳出新考试读解的出题分为以下四种形式:

1. 测试能否准确理解文章内容(细部)的题目

“内容理解”这一题型在各级别的测试中都会出现。根据“考试指南”介绍,这部分试题“重在测试能否运用语言知识、精读文章细部并准确理解”,主要考查考生对文章中提及的事实关系、理由及原因等的理解。这类题目要求考生采用上述“D. 精读部分文章”的阅读方式。

2. 测试能否准确理解文章内容(更宏观部分或全文)的题目

这类试题也属于“内容理解”题型,在 N1~N3 的测试中均会出现。根据“考试指南”介绍,这部分主要为“重点测试能否准确把握全文的基调、或理解全文的大意、或全文的中心思想、或作者的观点、或论理的脉络”等形式的题目。这类题目要求考生采用上述“A. 速读全文”和“C. 精读全文”的阅读方式。

3. 要求考生综合比较多篇相关文章(一般为两篇文章)的题目

此题型属于“综合理解”,只在 N1 和 N2 试题中出现。根据“考试指南”介绍,这部分试题主要考核能否“读懂就同一话题发表不同见解的两篇文章中存在的观点差异”。这类题目要求考生采用上述“A. 速读全文”和“D. 精读部分文章”的阅读方式。

4. 要求从通知、手册等获得相关信息的题目

属于“信息检索”题型,在 N5~N1 的各级别测试中均会出现。根据“考试指南”介绍,这部分试题为“重点测试能否有目的地或能否根据课题需要从材料中获取必需的信息”。这类题目要求考生采用上述“A. 速读全文”和“B. 速读部分文章”的阅读方式。

目 次

一、内容理解(短文)	1
二、内容理解(中文)	39
三、統合理解	101
四、主張理解(長文)	123
五、情報檢索	145
解答	167

一、 内容理解(短文)

生活・仕事などいろいろな話題も含め、説明文や指示文など200字程度のテキストを読んで、内容が理解できるかを問う問題。

問題 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

先進国中、日本の中高生は最も本を読まないという。読書^{ばな}離れである。理科離れは科学技術^{りっこく}立国^{あや}を危うくし、ひいては経済^{すいたい}を衰退^{すいたい}させるとして大きな話題を呼んでいるが、読書離れの方が重大である。それは、人々の情緒^{じょうちりよく}力低下を招く。すなわち数ある論理の中から最も本質的なものを選び出したり、価値判断を加えたりする能力を減退させるのである。これは国民の方向感覚を失わせ、ひいては国家^{ほろ}を滅ぼすことになるからである。

(2002年6月15日付朝日新聞朝刊より)

1 筆者の「読書離れ」について最も適当な考えはどれか。

- 1 読書離れになったのは日本経済^{すいたい}衰退^{みっせつ}と密接な関係がある。
- 2 読書離れになったのは直接に理科離れ^{ばな}から来ている。
- 3 読書離れは理科離れを招き、そして日本経済^{すいたい}衰退^{すいたい}をももたらす。
- 4 読書離れは人々の情緒^{ほろ}力低下を招く上、国を滅ぼす恐れがある。

(2)

今月から始まった市当局のゴミ^{ぶんべつ}分別出しというゴミ対策の理念は十分理解していますが、これを実際行なっている私たち高齢夫婦は、その煩雑^{はんざつ}さに(注1)ほとんど弱り切っています。

一回目はスーパーのポリ袋に入れて出したゴミは「袋が違っている」と返^{かえ}されました。

そのうえ、マヨネーズや(注2)ケチャップのチューブの中まで水^{みず}洗いして出せ、とのこと。この年になって、このようなことまでしなければならないのかと情^{なさ}けなくて、涙がこぼれました。

(注1)ほとんど弱り切る：本当に困っている

(注2)ケチャップ：西洋調味料の一つ

2 筆者の言いたいことはどれか。

- 1 高齢老人なら、ゴミ分別作業をしなくてもいい。
- 2 ゴミをきちんと分別できれば、袋ぐらいはどうでもいい。
- 3 ゴミ分別の問題において、年寄りの立場に立って考えてほしい。
- 4 老人もゴミ分別作業をしなければならない社会になった。

(3)

電車内の音の迷惑といえば、ヘッドホンから漏れるシャカシャカ音がある。シャカシャカ音は、それが原因で傷害事件も起き、社会問題となった。ヘッドホンの場合は、音も気になるが、騒音を出しながら(注1)悪びれない態度を見て頭に来るという訴えも多い。

携帯電話も同様だ。ぼそぼそ小声で話したのでは相手に聞こえないのだとわかっていても、狭い車内で傍若無人に堂々と声高に話されると、やはり腹が立つ。場所柄を(注2)わきまえるというマナーを守って使ってほしいものだ。

(注1)悪びれない態度：平気な態度

(注2)わきまえる：よく判断して、よく区別して行動を取る

3 筆者の意見に合うものはどれか。

- 1 携帯電話のヘッドホンから音が漏れて騒音になる。
- 2 大声で携帯電話をかけるのでは、人の迷惑になる。
- 3 携帯電話を使用する人の態度が悪くて本当に腹が立つ。
- 4 車内で携帯電話を使用する際、マナーを心がけてほしい。

(4)

勤勉を美德であるとする多くの日本人は外国人からの「日本人は働きすぎ」という評価がなかなか納得のいかないことであった。しかし、若者を中心に、休暇に対する日本人の考え方や使い方も次第に変化してきたようである。

たとえば、ゴールデンウィークには、有給休暇を利用して1週間以上の休みを取り、海外旅行や長期滞在型のレジャーを楽しむ人が多くなってきた。

ゴールデンウィークという用語が、30年ぐらい前の映画界で初めて使われたことを考えると、大きな時代の流れを感じないわけにはいかない。

4 「大きな時代の流れ」とはどういうものか。

- 1 会社から家庭へである。
- 2 ゴールデンウイークからレジャーへである。
- 3 勤勉から休暇へである。
- 4 外国から日本へである。

(5)

もともと、人間を含む^{れいちょうい}霊長類は、^{しゅうかく}臭覚に比べて視覚のほうが発達しているため、暗くなってからの行動はかなり制限されてきた。したがって夜明けとともに起き、明るいうちに行動し、^{ひる}日暮れとともに眠りに付くということが習慣性となって、このパターンが脳に^{きざ}刻み込まれ、生活行動の基準となる体内時計となっているのである。

そのうち人間だけが文明を作り、このパターンを崩してしまい、^{よるがた}夜型人間がますます増加していく傾向を示している。

5 筆者の考えに合うものはどれか。

- 1 人間は文明を持つことで夜型になった。
- 2 霊長類がすべて夜型とはいえない。
- 3 視覚が発達している霊長類は夜間を好む。
- 4 体内時計を持っているのは人間だけである。

(6)

人間と同じような能力を持つロボット、すなわち知能ロボットの開発が盛んになっているが、まず、問題となるのは、どんなロボットが必要かということだ。さらに、そのロボットに確実に作業する能力を持たせることができるかが重要だ。現在、^{かいご}介護、^{かいじょ}介助の分野ではロボットに大きな期待が寄せられている。一方、建設業などの分野では、^{きぎげん}極限環境でのロボットの研究開発に力を入れている。しかし、そのようなロボットは数が少ないため、特殊な機械となってしまう危険性がある。

6 筆者の考えに合うものはどれか。

- 1 知能ロボットは確実に作業する能力を持っている。
- 2 知能ロボットは介護介助の分野で活躍中である。
- 3 知能ロボットの開発には目的をはっきりさせる必要がある。
- 4 知能ロボットの建設分野での活用が期待されている。

(7)

人の脳は大きく、論理や言語を処理する左^さ脳と、情緒的な感情を処理する右^{みぎ}脳に分けられる。したがって、音楽家や画家などは右脳が、学者や作家などは左脳が発達していると考えられる。一般的に人は毎日の生活では、言葉を話したり、仕事を論理的に処理したりすることが多いため、左脳をよく使うが、そんな時は音楽を聴いたりして右脳を使うようにすると、脳の血液循環がよくなり、同時に左脳は休息ができるのである。

7 筆者の考えに合うものはどれか。

- 1 右脳と左脳とがあるが、人間には右脳が重要である。
- 2 疲れた左脳を休ませるには、右脳を使うとよい。
- 3 言葉を話したり、仕事をしたりする時に使うのは右脳である。
- 4 芸術家や学者はどちらかという、右脳人間である。

(8)

睡眠とは体内のエネルギー収支のバランスを保つために進化の過程で身につけた本能だということです。

同じ一人の人間の、同じ一晩の眠り方でも一様ではありません。睡眠にはレム睡眠とノンレム睡眠があり、この両者から一晩の睡眠が構成されています。レム睡眠というのはまぶたは閉じていても眼球だけは動いている睡眠のことです。つまり体は眠っていても脳はおきていて、夢を見ることが多い睡眠です。ノンレム睡眠というのは、脳も眠っている睡眠です。

8 筆者の考えに合うものはどれか。

- 1 ノンレム睡眠に至れるかは生活習慣による。
- 2 通常はレム睡眠からノンレム睡眠に移るものである。

一、内容理解(短文)

- 3 レム睡眠は脳が眠っても体が起きている状態である。
- 4 ノンレム睡眠の中で、人はよく夢を見る。

(9)

乳児は、低温の環境に置かれれば、冷えてしまう。高温の環境に置かれれば、発熱してしまう。つまり、外界の変化に対して自律性がなく、外界の変動に左右される。

うつ病になりやすい人も、この意味での自律性が、本当には確立されていない。普通だったら、外界が寒くなれば、その分、自家発電して、自分で自分を温める能力がある。外界が暑くなれば汗をかいて自分の体温を下げようとする。こうした生態の能力をホメオスターシスと呼ぶが、ホメオスターシスの脆弱^{ぜいじやく}さが、うつ病になりやすい人の一つの素質である。

(小此木啓吾「人生の秋」による)

9 次の「ホメオスターシス」を含む文の中で正しいものはどれか。

- 1 乳児はホメオスターシスが弱いので、汗をかく。
- 2 ホメオスターシスの弱い人はうつ病になりやすい。
- 3 乳児はホメオスターシスが強いので、体温調節ができる。
- 4 ホメオスターシスの強い人は自家発電をしなくてすむ。

(10)

親の育て方によって、子どもの発達が大きな影響を受けることは確かでしょう。例えば、無口な両親の子どもは言葉は後^{おく}れがちです。母親のしつけが十分になされていないければ、子供の食事や大小便などの基本的生活習慣の自立も後れます。しかし、知的障害者では、子どもの重い後れが、親の育て方のまずさが原因だとは、とても考えられません。一方、知的障害の比較的軽い子どもでは、保育園などへ入ることによって、親の育て方の不十分さは急速にカバーされ、言葉や生活習慣の能力は追いついてくるものです。

10 この文の内容に合っているのはどれか。

- 1 知的障害を持つ親の子は親の影響を受ける。
- 2 両親が無口なら、その子も無口になる。

- 3 子どもの知能障害は親のしつけによる。
- 4 多少の障害がある子どもでも、生活習慣は身に付く。

(11)

2011年3月に起こった東日本大震災による大惨事はまだ記憶に新しいです。現在の科学技術では、いつ、どこで、どのような地震が起きるのか、予知することはできません。したがって、地震が起きたその時、その場所で都民の皆さん一人ひとりが、「自らの命は自らの力で守る」という意識を持ち、適切な自己防衛行動を取ることがどうしても必要です。そのためには、日ごろから地震に備えた防災対策を家庭や職場、学校で進めておくことが何より大切です。

11 この文は何を訴えているか。

- 1 自然災害は繰り返し起こるのだ。
- 2 現代科学で自然災害を防ごう。
- 3 日ごろから国民に対する防災教育や対策が必要だ。
- 4 「自らの命は自の力で」では決して守りきれない。

(12)

先日、防災館に行ってきた。災害を模擬体験し、その歴史やメカニズムを学んだ。

最初に長靴と^(注)カップを身につけて暴風雨を体験。火災コーナーでは避難を試みた。地震コーナーでは、震度7を体験した。

実際に起きた際には、今回の経験を生かせるようにしたい。いざという時のために、ぜひ多くの人に模擬体験をしてほしい。でも、忙しくてそんな時間はないという人はせめて、地震など災害が起きた時に家族が集まる場所などをあらかじめ決めておいてはと思う。

(城間美智子「『もしも』に備えを」による)

(注)カップ：体に着る雨具の一つ

12 「模擬体験」とはどういう体験か。

- 1 珍しい体験
- 2 今後に生かせる体験

- 3 体力が分かる体験
- 4 子どもに教える体験

(13)

朗らかに振る舞っている自分の外面と違って、内面では死ということを常に考えている証拠に、死についての夢をよく見ます。このごろはどうしてだか新幹線に乗る夢をよく見ます。私は死という駅へ行く新幹線の切符を買っているんですが、この切符を持って改札口を通ったら、もうこっちへ戻れません、と書いた立て札があるのに、うっかり改札口を通過してしまって、あっ、この汽車であっちへ行っちゃうのかと思う。そのときの気持ちはなんともいえません。

13 「そのときの気持ちはなんともいえません」とあるが、どうしてこういう気持ちになるのか。

- 1 いつも死を考えているから
- 2 よく新幹線の夢を見るから
- 3 いつも朗らかにしているから
- 4 よく夢のことを考えるから

(14)

義母を^{ぎぼ}(注1)引き取って1年が過ぎます。義母は98歳。「最後まで^{みと}(注2)看取ってあげよう」。そう思って頑張ったのですが、私の心と体の方が壊れてしまいました。

義母の厳しい性格、激しい言葉は耐えがたいものがあり、そのひとことに何回涙を流したことでしょう。^(注3)嫌な気分を買い物で^{まぎ}紛らわしたり、映画を見て発散させたりしましたが、家に帰るとダメなのです。そのうち、ストレスから^{みみな}耳鳴りがし始め、グチと不満で夫を責め、ついには婦人科に通うようになりました。

(毎日新聞による)

(注1)引き取る：預かって世話をする

(注2)^{みと}看取る：世話をすること

(注3)嫌な気分を紛らわす：嫌な気分を他に移す

14 筆者のストレスになる原因に合うものはどれか。

- 1 義母の世話をすること
- 2 義母に毎日厳しくしかられていること
- 3 婦人病にかかって体が壊れたこと
- 4 泣いていたり、夫と口げんかしたりすること

(15)

車いすの女性が駅の身障者用エレベーターに十何時間も閉じ込められた。ボタンに手が届かないせいだ。車いすの外出はとても不便なものだ。大阪や首都圏など各地で、エレベーター設置運動が進んでいる。障害児の母親たちは、十五年来の運動で駅への設置を実現する中で、障害だけでなく、老人、妊婦にも利用できるのが望ましい、と痛感したという。いろいろな人が一緒に生活できる町作り。そういう自然な考え方が必要な時なのだ。

(小笠原信之氏の文による)

15 筆者は何に対して不満を持っているのか。

- 1 駅に障害者用のエレベーターが設置されていないこと
- 2 エレベーター設置運動が長続きしないこと
- 3 市民が障害者用エレベーターに関心がないこと
- 4 障害者用エレベーターのボタンの位置が高いこと

(16)

ヨーロッパの国々ですと、たいてい^(注)地^じ続^{つづ}きになっていますから、だいたいインド・ヨーロッパ語族という同じ一つの系統のことばを使っています、単語にしましても、発音や意味にしましても、あまり大きな違いがないのです。島国である日本では、ことばの点でも、他の国々のことばとかなり違っているのですから、外国のことばが入ってきますと、非常に目立ちます。そこで外来語というものが、人々の注意を強く呼び起こすことになります。また、その数もなかなか多いのです。その点は、同じ島国であるイギリスとよく似ています。

(注)地^じ続^{つづ}き：間に海や川などがなく、土地が続いていること

16 「あまり大きな違いがない」のは、何か。

- 1 地理
- 2 風習
- 3 ことば
- 4 系統

(17)

業種や規模を問わず、会社というのは利益追求を大きな目的とする組織で、大勢の人で構成している。経営がうまくいく時期もあれば、不振^{ふしん おちい}に陥^{おちい}ることもある。人間関係もいつも円滑にいくとは限らず、^(注1)あつれきが^{しょう}生^{しょう}ずることもある。

そうした中で、何代にもわたって、親が自分の勤めている会社にも子供も勤めさせたいと思うのは、その会社に^(注2)言うに言われない魅力があるからに違いない。そういう会社をもっと多くなることが今、求められているように思う。

(注1)あつれきが^{しょう}生^{しょう}ずる：人との仲が悪くなること

(注2)言うに言われない：言いたくても言うことができない

17 筆者の気持ちに合うものはどれか。

- 1 何代にもわたって同じ会社で働いてきた親子に感心した。
- 2 会社として最大の利益追求を目的とするのは当然だ。
- 3 家族企業は他の形式の会社より人間関係が円滑にいく。
- 4 社員の心を引きつける魅力のある会社が多くなってほしい。

(18)

80歳近くになると、若いときに想像していた以上に老化が進み、医療のお世話になる。まず免疫力^{めんえきりょく}がなくなるためか、風邪を引きやすくなる。私は月に1回はかかる。

医師が30歳から50歳の場合、こうした高齢者の病気の特徴がまったく分からず、風邪は5日もあれば治ると考える。だから症状が長引くと、「どうしたらいいか」と迷って治療を^(注)打ち切ってしまう。

高齢者の身になった治療ができるのは、やはり70歳を超えた医師だけであ